

# 第2次南郷地区 地域福祉活動計画

(平成30～34年度：5カ年計画)



みんなで築き、守る“南郷つながり”

平成30年3月

南郷地区福祉会

# 目次

## 第2次南郷地区地域

「みんなで築き、守る“南郷つながり”」の策定にあたり……………1

### I はじめに

- 福祉社会について……………2
- 社会福祉協議会について
- 地区別地域福祉活動計画について
- 計画の期間

### II 南郷地区の地域福祉活動の課題

- 第1次活動計画の評価と課題……………3
- 南郷地区の現状認識

### III 第2次南郷地区地域福祉活動計画の理念と基本計画

- 基本理念……………12
- 基本方針

### IV 実施計画

- 実施計画……………16

○第2次南郷地区地域福祉活動計画策定員会名簿……………20

○第2次南郷地区地域福祉活動計画策定員会スケジュール……………21

## 第2次南郷地区地域福祉活動計画

### 「みんなで築き、守る“南郷つながり”」の策定にあたり

南郷地区福祉会

会 長 松本 信義

南郷地区福祉会が、平成元年11月に発足して29年が経過しました。本会は、高齢者の介護予防や閉じこもり防止を目的としたいきいきふれあいサロンや地域の子どもたちとの交流事業、南郷地区コミュニティ運営協議会との連携事業など、様々な地域福祉活動を住民のみなさまのご理解とご協力をいただき、推進してまいりました。

時代とともに少子高齢化が急激に進み、多様化していく地域課題に対応していくため、南郷地区における地域福祉活動の目的を明確化、取り組みを計画的・効率的・効果的に推進するため、平成24年に「南郷地区地域福祉活動計画(平成24年～28年度:5カ年計画)」を策定いたしました。

第1次活動計画の期間が終了したため、今回、平成29年5月から第2次活動計画の策定委員会を計5回、開催しました。計画の策定等につきましては、策定委員のみなさまに毎回熱心なご討議をしていただき、誠にありがとうございました。

第1次活動計画の柱である基本理念や基本方針は継承しつつ、南郷地区の現状や地域課題に沿うよう本計画を策定いたしました。また本計画の策定を好機とし、住民のみなさまの南郷地区における地域福祉活動への理解を深めていただき、地域一体となって「みんなで築き、守る“南郷つながり”」を継承してまいりたいと思います。

今後とも、地域福祉活動を推進する本会活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

## I はじめに

### ■ 福祉社会について

- 昭和63年4月に自由ヶ丘地区に本市で初めての福祉会「自由ヶ丘地区福祉会」が発足しました。南郷地区福祉会(以下「地区福祉会」という。)は、平成元年11月に発足しました。
- 福祉会は、自分の住んでいる地域を住民の手で(=参画・協働)誰もが生活しやすいように(=共生社会)活動を行う(=福祉力を高める)住民の自主的な組織です。また、自治会単位(小地域)の福祉会を「小地域福祉会」、地区(コミュニティ)単位の福祉会を「地区福祉会」といいます。現在「地区福祉会」は、市内13地区すべての地区に結成されています。

### ■ 地区別地域福祉活動計画について

- 地区別地域福祉活動計画とは、「地区福祉会」が行う地域福祉活動の目的を明確にし、目的を達成するため、取り組みを計画的・効率的・効果的に推進するための計画です。
- 第1次活動計画策定の背景としては、コミュニティ運営協議会健康福祉部会と地区福祉会が一体であり、両組織の位置付けや役割分担などについて検討・整理する必要があったため、平成23年度に策定委員会を設け、平成24年度から28年度までの5か年計画を策定しました。

### ■ 計画の期間

- この第2次活動計画の期間は、平成30年度から平成34年度までの5か年とします。必要が生じれば、見直しをすることがあります。
- 計画書については民生委員児童委員や自治会・隣組長へダイジェスト版を配布・回覧し、住民に対し、南郷地区の地域福祉活動への周知を図ります。

### ■ 社会福祉協議会について

- 社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に「地域福祉の推進を目的とする民間の中心的な団体」として規定されている「社会福祉法人」です。また社会福祉協議会は国内すべての自治体(都道府県・市区町村)に設置されており、活動の主体が地域福祉であることから、極めて高い「公共性」が特徴であり、福祉会の活動にも大きく関わっています。

## Ⅱ 南郷地区の地域福祉活動の課題

### ① 第1次活動計画の評価と課題

第1次活動計画の進捗状況や評価、課題について策定委員会にて検討を行いました。

#### 1. みんなで人のつながりを大切にしよう

##### ◆隣近所の人への気配り運動をすすめよう

###### (1)隣近所の人への気配り運動をすすめよう

###### ①小地域ネットワーク活動を充実しよう

###### 【評価】

- 民生委員児童委員の定期的な訪問、各自治会で開催している介護予防いきいき交流会事業が定期的な見守りの場として活用されている。

###### 【課題】

- 南郷地区福祉会・民生委員児童委員・福祉協力員が情報共有できる機会を設け、日頃からのネットワークの仕組みをつくる必要がある。

###### ②防火指導・点検活動を充実しよう

###### 【評価】

- 以前、消防団から要請があり火災報知器の訪問取り付け案内を行ったが、現在は福祉会として防火指導・点検活動等を行っていない。市内では宗像市総合防災訓練が実施され、コミュニティごとにも防災訓練が行われている。

###### 【課題】

- 福祉会として防火指導・点検活動等の実施はないが、市内・コミュニティごとの防災訓練等に積極的に参加・支援を継続的に行う必要がある。

###### ③楽食会・バスハイクを充実しよう

###### 【評価】

- 年2回、楽食会・バスハイクを実施。楽食会では南郷小学校や浄徳寺幼稚園と連携し、世代間交流の場を設けている。

###### 【課題】

- 参加者が固定化する傾向があるため、アンケート調査などを実施し、内容の充実を図る必要がある。

#### ④地域リビング(仮称)活動を推進しよう

(※地域リビング活動:住民がくつろげる“居間(リビング)”として常に開放した居場所づくりの活動)

##### 【評価】

■実施なし。

##### 【課題】

■民生委員児童委員の訪問活動以外の方法による安否確認や情報提供・健康増進・地域交流を行うことを目的とし、介護予防いきいき交流会事業等の充実を重点的に行う必要がある。

#### ⑤とも白髪の会を充実しよう

##### 【評価】

■実施なし

##### 【課題】

■とも白髪の会としての活動は現在行われていないため、高齢者夫婦も参加しやすいバスハイクなどの取組みを検討する必要がある。

### (2)高齢者等の孤立化(孤独化)を防ぐ人財(材)を養成しよう

#### ①福祉協力員制度を充実しよう

##### 【評価】

■平成29年度現在16人。バスハイク等への支援や各自治会におけるいきいきふれあいサロン等での世話人として活動。

##### 【課題】

■福祉協力員間の定期的な情報共有や連携がとれていないため、各自治会の地域課題などを共有できる機会として定例会議等を開催する必要がある。

#### ②福祉会理事や福祉協力員の研修を充実しよう

##### 【評価】

■平成28年度より住民福祉講座を実施。また福祉講演会等を地区福祉会主催で開催し、理事や福祉協力員等の資質向上に努めている。

##### 【課題】

■福祉会理事と福祉協力員が、日頃から情報共有・交換できる機会や相談しやすい関係づくりを行っていく必要がある。

## ◆地域福祉活動を通じて地域の人々とのつながりを創造しよう

### (1)高齢者の介護予防と閉じこもりを防止する活動を充実しよう

#### ①介護予防いきいき交流会事業を充実しよう

##### 【評価】

- 現在、13自治会にて実施。老人クラブが主になって開催されている地域については、会員以外の参加が少ない現状である。

##### 【課題】

- 全自治会にて実施できるよう、民生委員児童委員・福祉協力員・老人クラブ等を通じて働きかける必要がある。
- 世話人等の後継者不足がある。

### (2)高齢者等の健康増進活動を充実しよう

#### ①中・高齢期を健康に生きるための活動を充実しよう

##### 【評価】

- 毎年2月わくわく交流会にてニュースポーツや健康体操等を実施している。

##### 【課題】

- 参加者等へアンケート調査を行い、交流会の内容充実を図る必要がある。

#### ②シルバー農園を支援しよう

##### 【評価】

- 生きがづくり・交流の場として活用。福祉会からは担当2名が定例会議に出席している。

##### 【課題】

- 地区福祉会として、今後のシルバー農園への関わり方・支援について検討が必要である。

### (3)高齢者の生活を支援する活動を推進しよう

#### ①単身高齢者等へのゴミ出し支援活動を推進しよう

##### 【評価】

- 南郷地区コミュニティ運営協議会と検討中である。

##### 【課題】

- 平成29年度より宗像市がゴミ出しが困難な高齢者や障がい者世帯等を対象にご自宅の玄関先(外)でゴミを収集する「ごみのふれあい収集(戸別訪問収集)」が開始された。この取り組みはゴミの排出がなかった場合は安否確認を行うこととなっている。ゴミ出しが難しくお困りの世帯については、福祉会・民生委員児童委員・福祉協力員等より本サービスの案内を行う必要がある。

ある。

②単身高齢者等への外出(移動)・買い物支援活動を推進しよう

【評価】

■実施なし。

【課題】

■福祉会として外出(移動)・買い物支援の実施は現状では難しいため、買い物難民等の多い地域については移動販売の業者等との連携を検討する必要がある。





## 2. みんなで世代のつながりを大切にしよう

### ◆多様な世代の人々とのつながりを創造しよう

#### (1)地域福祉活動を通じて多様な世代の人々とのつながりを創造しよう

##### ①福祉ボランティア養成講座(仮称)を実施しよう

###### 【評価】

■平成 28 年度より福祉関係者へ向けた住民福祉講座等を社会福祉協議会と連携し、実施している。

###### 【課題】

■参加者へアンケート調査を行い、住民の想いやニーズに合う講座等を企画していく必要がある。

##### ②地域ボランティア活動を推進しよう

###### 【評価】

■実施なし。

###### 【課題】

■地域福祉活動の担い手の育成に繋げるため、社会福祉協議会等の開催するボランティア養成講座等への参加を住民に呼びかける必要がある。

#### (2)次代を担う人財(材)を育てよう

##### ①学校や地域での生涯学習としての福祉学習を推進しよう

###### 【評価】

■南郷小学校・浄徳寺幼稚園等と連携し、世代間の交流の場を設けている。

###### 【課題】

■社会福祉協議会と連携し、高齢者・障がいのある人を理解する学習を子どもたちと一緒に取り組んでいく必要がある。

##### ②広報・広聴活動を充実しよう

###### 【評価】

■広報誌「もやい」や社会福祉協議会の facebook ページ等において随時、地区福祉会の事業等について掲載している。今後も適宜実施していく。

###### 【課題】

■自治会や隣組と連携し、開催事業のチラシ等を配布・回覧し、住民への広報活動を行う必要がある。

### ③ダイズ(大豆)サミット(仮称)を推進しよう

#### 【評価】

■ 宗像市の特産品である大豆を使って「食育」をしていこうという目的で上記の取組みを企画していたが、大豆に限らず、宗像市で採れた様々な食材を使って楽食会等で食事を振る舞い、食の大切さを伝えている。

#### 【課題】

■ 今後も多世代へ向けた「食育」に繋がる食育料理教室等を広めていく必要がある。



### 3 みんなで地域のつながりを大切にしよう

#### ◆地区の地域福祉推進団体と連携を図ろう

(1)地区の地域福祉推進団体と連携を図ろう

①コミュニティ運営協議会活動に参画しよう

【評価】

■適宜実施している。

②福祉会とコミュニティ運営協議会健康福祉部会の位置付けと活動を整理しよう

【評価】

■第1次南郷地区地域福祉活動計画を策定し、整理済み。

③福祉会構成団体構成員との交流を深めよう

【評価】

■適宜実施している。

#### ◆地域の福祉実態や事業参加者の意向を把握しよう

(1)各種調査を実施しよう

①地域や住民、要援護者等の実態を把握しよう

②調査結果を積極的に住民に周知しよう

③事業参加者の要望等を把握しよう

【評価】

■①～③実施なし。

【課題】

■事業実施の際に参加者へアンケートを実施し、ニーズ把握に繋げていく。

## ◆「しくみ」を維持・継承するための活動財源を確保しよう

(1) 福祉会の活動財源確保に努めよう

- ① 赤い羽根共同募金運動に協力しよう
- ② 歳末たすけあい募金活動に協力しよう
- ③ 福祉会の自主財源確保に努めよう

### 【評価】

■ 適宜実施している。

### 【課題】

■ 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金活動で集められた募金の一部は福祉会の活動財源として配分されているが、住民への周知が十分になされていないため、宗像市の地域福祉活動に活用されている旨を地域住民に積極的にアピールしていく。



## ②南郷地区の現状認識

第2次南郷地区地域福祉活動計画策定委員会において福祉座談会を行い、【南郷地区のいいところ・自慢できるところ】や【気になるところ・改善したいところ】について話し合いました。

### 【南郷地区のいいところ・自慢できるところ】(抜粋)

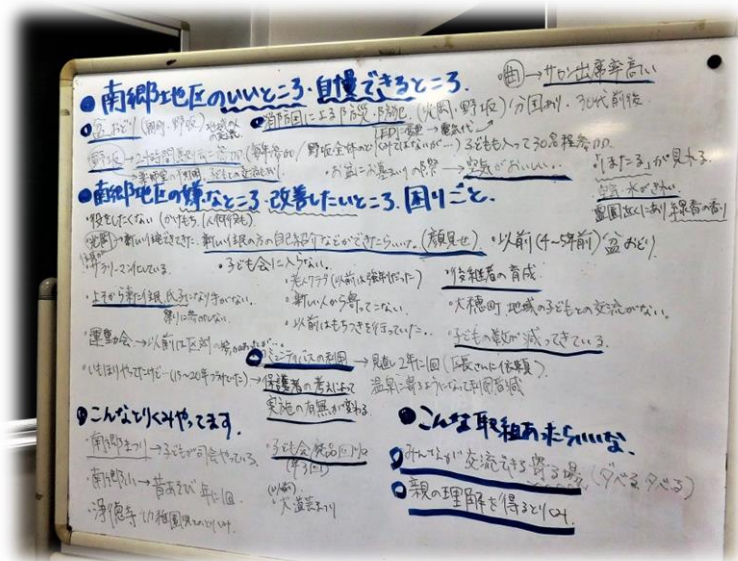
- ・元気にあいさつをしてくれる、礼儀正しい子どもたちが多い
- ・地域の昔ながらの行事が続いている
- ・空気や水が綺麗で暮らしやすい
- ・福祉会と学校(園)が連携し、世代間交流を行っている

### 【南郷地区の気になるところ・改善したいところ】(抜粋)

- ・若い世代が地域からどんどん出て行ってしまう
- ・自治会や子ども会、シニアクラブ等への加入率が低くなっている
- ・地域福祉活動やボランティア活動等への関心が低い
- ・地域によって伝統的行事等が徐々に少なくなっている
- ・隣組の関係性や繋がりが希薄化している
- ・役の担い手が少なく、特定の人に負担がかかっている

## 【こんな取組みがあったらいいな】(抜粋)

- ・気軽に誰でも寄れるような居場所づくり
- ・親子ともに参加できる子どもたちとの交流事業
- ・学校(園)との関わりをもっと増やしていきたい





## Ⅲ 第2次南郷地区地域福祉活動計画の理念と基本方針

### ■ 基本理念

# みんなで築き、守る“南郷つながり”

※第2次南郷地区地域福祉活動計画では、第1次活動計画における基本理念・基本方針を継承し、南郷地区の現状にあわせて実施していきます。

### ■ 基本方針

#### 1. みんなで人のつながりを大切にしよう

●福祉活動の基礎は、地域で人と人との顔の見える関係づくりです。隣近所の住民同士のつながりを大切にしていきましょう。

#### 2. みんなで世代のつながりを大切にしよう

●“南郷つながり”は多様な世代とのつながりを前提にしています。次代の“南郷つながり”を受け継ぐ人財の養成を行いましょう。

#### 3. みんなで地域のつながりを大切にしよう

●南郷地区は健康福祉部会と地区福祉会が一体の活動を行っています。現状にあわせて機能を整理・整備していき、“南郷つながり”を効率的・効果的に推進していきましょう。

## 南郷地区ってどんなところ？

福岡市と北九州市の中間地点である宗像市の南側に位置する。以前は南郷村として農業中心の地区であったが、現在は国道3号線が地区内を貫通しており、様々なお店が出店しているため多くの人で賑わっている地区である。

## 南郷地区の状況

■人口 5,540人

■世帯数 2,434世帯

■高齢化率 %

【平成30年3月末時点】



人のつながりを大切にしよう

## 具体的な取り組み

### ① 見守りネットワーク活動を推進しよう

- ☝ 民生委員児童委員・福祉協力員等との連携を強化し、日常の見守りを強化します
- ☝ 自治会へはたらきかけ、隣近所での“顔の見える関係づくり”をすすめます

### ② 福祉協力員制度・役割を明確化しよう

- ☝ 福祉協力員に関する体制や研修等の充実を図ります
- ☝ 小地域ごとの地域課題を把握するため、情報連絡会を実施します

### ③ いまいきふれあいサロンを充実しよう

- ☝ 高齢者の介護予防・閉じこもり防止・見守りネットワーク活動の一環として実施します
- ☝ 南郷地区に適した実施・運営方法を検討し、全自治会での開催を目指します



## 世代のつながりを大切にしよう

### 具体的な取り組み

#### ①多様な世代の人々とのつながりを創造しよう

- 世代間交流を継続して実施し、子どもから高齢者までの輪を広げていきます
- 学校や住民への福祉教育を推進します

#### ②次代を担う人材を育成しよう

- 住民を対象とした福祉講演会や講座などを実施します
- 広報・広聴活動を充実し、住民の福祉会活動への関心を高めます



## 地域のつながりを大切にしよう

### 具体的な取り組み

#### ①地域課題や住民の福祉ニーズを把握しよう

- 事業参加者のアンケート調査を行い、事業内容の充実を図ります
- いきいきふれあいサロン等を通じて、住民の地域課題や福祉ニーズを把握します

#### ②地域福祉推進団体と連携を図ろう

- コミュニティ運営協議会・社会福祉協議会等との連携を強化します
- 福祉会構成団体構成員間の交流を深めます

## IV 実施計画

「みんなで築き、守る“南郷つながり”」をつくっていくために、具体的にどのようなことをやっていけばよいのでしょうか。南郷地区の現状にあわせて、第1次計画から継続するもの・削るもの・新しいものを含め、基本理念の具体的展開としての今後5年間の実施計画を示します。

### 1. みんなで人のつながりを大切にしよう

#### ■ 見守りネットワーク活動の推進

目 的	見守りネットワーク活動を推進することにより、地域内の人と人とのつながりを創造し、無縁社会化を防止していきます。
実施方法	<ul style="list-style-type: none"><li>●見守り活動を中心に行う民生委員児童委員と福祉協力員等と連携し、小地域ごとの対象者(単身高齢者・高齢者のみの世帯・障がい者世帯・その他見守りが必要と思われる世帯等)の情報の共有や連絡会を行います。</li><li>●自治会へ隣組長による広報配布時の見守りや外観からの日常的な見守り(郵便物・洗濯物・電気等)を呼びかけ、異変に気付いた際は民生委員児童委員や自治会長に情報提供を行うことをはたらきかけていきます。</li></ul>

## ■福祉協力員制度・役割の明確化

目 的	小地域ごとの地域福祉活動を推進するため、福祉協力員の の 制度・役割を明確化していきます。
実施方法	●福祉協力員の制度・役割について検討し、研修・会議な どの実施・充実を図ります。  ●自治会ごとの地域課題や福祉ニーズを把握するため、 定期的な情報連絡会を開催します。

## ■いきいきふれあいサロンの充実

目 的	高齢者の介護予防・閉じこもりの防止・見守りネットワーク活 動の一環として実施や内容の充実に努めます。
実施方法	●南郷地区の現状に適した実施・運営方法等を検討し、 全自治会において開催していきます。  ●参加者の固定化・少数化を防ぐため、アンケート調査等 を実施し、誰もが気軽に楽しく参加できる内容の向上を図 ります。

## 2. みんなで世代のつながりを大切にしよう

### ■多様な世代の人々とのつながりの創造

目的	地域福祉活動を通じて子どもから高齢者までの多様な世代の人々とのつながりを創造していきます。
実施方法	●若い世代へ高齢者の理解を促進するため、学校(園)等と連携し世代間交流を継続して実施します。 ●事業内容の充実を図るため、関係者間で検討会を行います。

### ■次代を担う人材の育成

目的	福社会活動への理解者・協力者を増やすとともに、“南郷つながり”を受け継ぐ人材を養成していきます。
実施方法	●住民向けの福祉講演会や講座を継続して実施し、福社会活動への理解者・協力者を増やしていきます。 ●住民の福社会活動への理解や関心を高めるために、広報誌「もやい」や社会福祉協議会等のSNSを通じて、南郷地区の地域福祉活動の情報を発信していきます。

### 3. みんなで地域のつながりを大切にしよう

#### ■ 地域課題や住民の福祉ニーズを把握しよう

目的	南郷地区の地域課題や福祉ニーズを把握し、実態に適した地域福祉活動を推進し、地域のつながりを深めていきます。
実施方法	<ul style="list-style-type: none"><li>● 事業参加者(例:バスハイクや七夕会)へのアンケート調査を行い、事業内容の充実を図ります。</li><li>● いきいきふれあいサロン等での高齢者との交流の中で地域課題や福祉ニーズを把握し、対策を検討していきます。</li></ul>

#### ■ 地域福祉推進団体と連携を図ろう

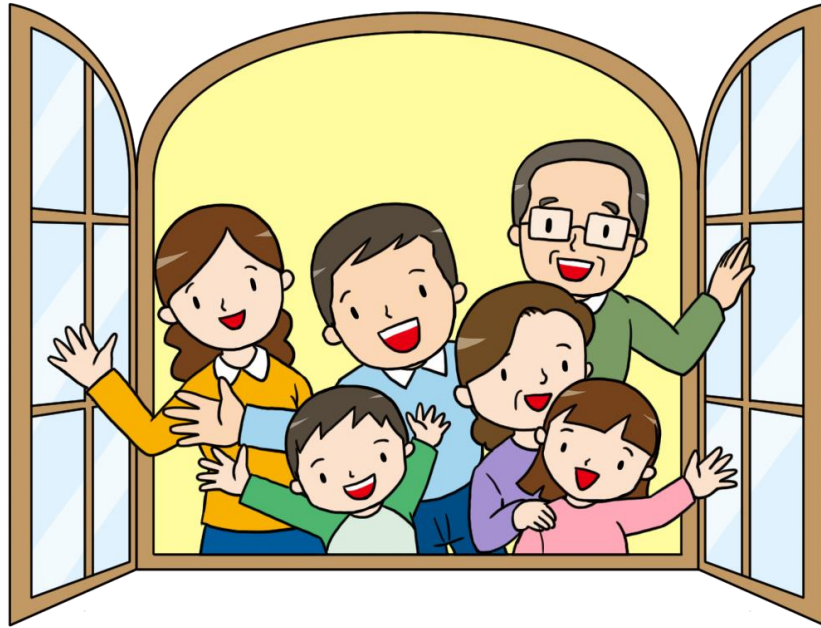
目的	南郷地区の現状にあわせて地域福祉推進団体と連携し、“南郷つながり”を効率的・効果的に推進していきます。
実施方法	<ul style="list-style-type: none"><li>● 健康福祉部会と地区福祉会が一体となっているため、南郷地区の健康づくりや地域福祉活動をコミュニティ運営協議会や社会福祉協議会と連携し、推進していきます。</li><li>● 定例会や研修会等において地域福祉推進団体間の交流を深め、互いに頼れる関係づくりを推進していきます。</li></ul>

## 第2次南郷地区地域福祉活動計画 策定委員会名簿

No	選出区分	氏名	備考
1	南郷地区民生委員 児童委員協議会	藤村 啓治	副委員長
2		花田 輝代	
3		安部 三恵子	
4	老人クラブ	松本 信義	委員長
5		三井 功	
6	福祉協力員会	古田 博	
7		福島 政光	
8		中村 寛子	
9	南郷支部食生活 改善推進委員会	柴田 陽子	
10		大谷 美佐子	
11	南郷地区コミュニティ 運営協議会	(会長) 児嶋 二三生	
12		(事務局長) 中村 弘志	
13	南郷地区区長会	高宮 和廣	

## 第2次南郷地区地域福祉活動計画 策定委員会 スケジュール

No	日時	項目	内容
1	平成29年 5月9日	第1回	・概要説明 ・座談会
2	6月13日	第2回	・福祉座談会
3	7月11日	第3回	・第1回、第2回振り返り ・第1次計画見直し
4	8月1日	第4回	・計画書（案）説明 ・意見交換
5	10月10日	第5回	・計画書（案）内容確認作業



# 第2次南郷地区 地域福祉活動計画

(平成30～34年度：5カ年計画)

みんなで築き、守る“南郷つながり”

発行／平成30年3月

作成／南郷地区福社会

編集／社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

連絡先／社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 福岡県宗像市久原180番地

TEL:0940-37-1300

FAX:0940-37-1393